

# 血液検査結果の見方

国立病院機構大阪南医療センター 臨床検査部

診察室で手渡された検査結果と一緒に見てください。手渡された結果には、上限値と下限値がありますが、検査結果が上限値を超えたとき H(高)、下限値より低いとき L(低) と表示され、それぞれ基準となる値から外れていることを示しています。基準値は正常値ではありません。健康な方の95%の値であり、健康であっても5%の方はこの基準から外れます。一つの検査結果だけを見て判断するのではなく、全体の検査結果から判断される必要があります。

おもな検査の目的	検査項目名	和名	説明
肝臓機能	AST		肝臓や心臓などの臓器に障害があると上昇します
	ALT		肝臓や心臓などの臓器に障害があると上昇します
	ALP	アルカリフォスファターゼ	肝臓や胆道、骨の疾患、小児も高値を示します
	γ-GTP		アルコール性肝臓障害に敏感に反応し上昇します
	LDH		肝臓や心臓、血液細胞などに異常があると高くなることが多い
	T-Bil	総ビリルビン	黄疸のときに高くなり、原因が分類できます
	D-Bil	直接型ビリルビン	〃
	ALB	アルブミン	肝臓で作られるたんぱく質で、栄養状態も反映します
A/G比		異常値は通常低下し、肝臓機能、腎臓機能の障害などが分かります。	

腎臓機能	BUN	尿素窒素	腎臓機能が悪くなると高くなります。
	CRE	クレアチニン	
痛風	UA	尿酸	高くなると痛風になりやすい、腎臓機能の低下でも高くなります

すい臓機能	AMY	アミラーゼ	すい臓や唾液腺の疾患で上昇します
	P-AMY	すい臓アミラーゼ	すい臓の疾患などで上昇します
	リパーゼ		すい臓の疾患などで上昇します

栄養状態	TP	総蛋白	肝臓や腎臓機能の障害で変動し、栄養状態も反映します
	ALB	アルブミン	肝臓で作られるたんぱく質です、栄養状態も反映します
	A/G比		異常値は通常低下し、肝臓機能、腎臓機能の障害などが分かります。

糖尿病	GLU	血糖(グルコース)	食事の影響を大きく受けますが、糖尿病では高くなります。
	HbA1c	ヘモグロビンA1c	1~2ヶ月間の血糖値の平均を表しています。

動脈硬化	T-CHO	総コレステロール	動脈硬化や虚血性心臓疾患の診断、経過観察に有用です
	HDL-C	HDLコレステロール	善玉コレステロールで低値の場合は動脈硬化や虚血性心疾患に注意する
	LDL-C	LDLコレステロール	悪玉コレステロールで高値の場合は動脈硬化や虚血性心疾患に注意する
	TG	中性脂肪	食事の影響を受けますが、多すぎると動脈硬化の危険因子です

体液のバランス	Na	ナトリウム	腎臓機能や脱水状態など体液中の電解質のバランスをみて、体全体の状態を診断します。
	K	カリウム	
	Cl	クロール	

血清鉄(貧血の検査)	Fe	血清鉄	鉄欠乏性貧血で低下します
	UIBC	不飽和鉄結合能	鉄欠乏性貧血で上昇します
	TIBC	総鉄結合能	血液が鉄を運べる能力で、TIBC=Fe+UIBCです

炎症(感染など異物によって起こる体の反応)	CRP	C反応性蛋白	炎症があると増えます。健常人は0.3以下です。
	WBC	白血球数	身体に細菌が感染し炎症が起これば増減します。
	赤血球沈降速度(血沈 赤沈)		膠原病の経過観察に有用です。生体組織の破壊などで亢進します

甲状腺機能	TSH	甲状腺刺激ホルモン	脳下垂体から分泌される甲状腺を刺激するホルモンです
	FT3	トリヨードサイロニン	甲状腺ホルモンです
	FT4	サイロキシン	甲状腺ホルモンです

腫瘍マーカー	AFP		肝臓など	良性の病気でも高くなることがあります。
	CEA		消化器など	良性の病気でも高くなることがあります。
	CA19-9		胆嚢、胆管、すい臓など	良性の病気でも高くなることがあります。
	PSA		前立腺	良性の病気でも高くなることがあります。

リウマトイド因子	RF		慢性関節リウマチ(RA)患者で高頻度で陽性になりますが、他の疾患でも陽性に出ることがあります。
----------	----	--	---

貧血の検査	RBC	赤血球数	数値の低下で貧血の診断ができます、これらの結果から総合的に貧血の原因が推測できます
	Hgb	ヘモグロビン量	
	HCT	ヘマトクリット値	
	MCV	平均赤血球容積	
	MCH	平均赤血球ヘモグロビン量	
	MCHC	平均赤血球ヘモグロビン濃度	
	網状赤血球		貧血の回復期などに増えます。

止血検査	PLT	血小板数	数から出血のしやすさ、止血機能をみます
	PT	プロトロンビン時間	血液の凝固能力を見ています。経口抗凝固薬の治療モニターとして使われる指標です。
	PTINR	プロトロンビン時間標準比	
	PT活性%		

末梢血液像検査 (血液中の白血球を分類しています)	Neut(stab)	好中球 桿状核球	細菌感染などで増えます
	Neut(seg)	好中球 分葉球	"
	Lymph	リンパ球	ウイルス感染などで増えます
	Mono	単球	
	Eos	好酸球	アレルギーや寄生虫感染で増加します
	Baso	好塩基球	

### 尿検査

尿沈渣：膀胱や腎臓の状態(顕微鏡で尿に含まれる成分をみます)	赤血球		尿の中に含まれる赤血球(血液)数です
	白血球		尿の中に含まれる白血球数で、膀胱や腎臓の炎症をみます
	扁平上皮		尿の中に含まれる尿道や表皮の細胞で、多くは採尿時の混入です。
	移行上皮		尿の中に含まれる膀胱や腎臓の細胞です、炎症があれば増えます。
	尿管上皮		
	硝子円柱		腎臓の状態ををみます。炎症があれば多く見られます。
	顆粒円柱		
細菌		膀胱炎など尿路感染をみます	

尿定性：尿に含まれる成分を調べています、スクリーニング(ふるいわけ)検査です	PH		
	SG(比重)		
	蛋白定性		腎臓機能のスクリーニング検査
	糖定性		糖尿病のスクリーニング検査
	ウビリゲン		肝臓機能のスクリーニング検査
	ケトン体		飢餓、糖尿病などで陽性になりやすい
	潜血反応		尿路(腎臓、尿管、膀胱)からの出血がわかります
	ビリルビン定性		肝臓機能のスクリーニング検査
	亜硝酸塩反応		尿路感染のスクリーニング検査
	白血球反応		尿路感染のスクリーニング検査

さらに詳しい血液検査の解説書をご希望の方は、採血室にありますので申し出てください。